

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 569 号	氏名	井上 愛美
学 位 審 査 委 員	主 査	濱野 真二郎	
	副 査	松山 俊文	
	副 査	平山 謙二	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、生きたマラリア原虫スポロゾイトもしくは感染赤血球と抗原虫薬メフロキンの組み合わせによって誘導される種・ステージ特異的および交差的な免疫応答を解明しようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 ネズミマラリア原虫の選択ならびにワクチン方法の選択は適切に行われている。また原虫数の評価、免疫応答の解析、データの提示も適切に行われており、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、生きたマラリア原虫スポロゾイトもしくは感染赤血球を使用したワクチンでは、共に種特異的免疫が強く誘導されることが示された。また、スポロゾイトを用いた免疫では、種・ステージ交差的な防御免疫も比較的強く誘導されることが示された。先行研究で報告のある感染赤血球によるスポロゾイトワクチン効果の阻害については、本研究では認められなかった。 以上のように本論文はマラリアワクチンの発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			